

授業科目 生活援助技術IV

【担当教員名】 岡田 史、渡邊 敏文	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修選択）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	60

【概要・一般目標：GIO】
 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力引き出したり、見守ることを含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する。
 ○自立にむけた排泄の意義と目的を理解し、その介助技法を身につける。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1)生活を維持していく上での、排泄についての関係が理解できる
 2)人間の生活における排泄行為の意味することが理解できる
 3)排泄についてのさまざまな介助技法を学び身につく
 4)さまざまな介助方法が実践できる

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	生活を維持していくための排泄の意義	1	講義
2	生活を維持していくための排泄の意義	1	講義
3	人間の生活における排泄環境	2	講義
4	人間の生活における排泄環境	2	講義
5	排泄自立を支える福祉用具	3	講義
6	排泄行為に有用な福祉用具	3	講義
7	排泄に関連したところからだのしくみ	3	講義
8	排泄に関連したところからだのしくみ	3	講義
9	排泄に関連したところからだのしくみ	3	講義
10	排泄に関連したところからだのしくみ	3	講義
11	トイレの環境	3	実技演習
12	トイレでの介助	3	実技演習
13	トイレに行くことができない場合の排泄介助（ポータブルトイレの介助）	3	実技演習
14	トイレに行くことができない場合の排泄介助（その他の便器の介助）	3	実技演習
15	トイレに行くことができない場合の排泄介助（オムツの介助）	3	実技演習
16	トイレに行くことができない場合の排泄介助（オムツの介助）	3	実技演習
17	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
18	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
19	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
20	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
21	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
22	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
23	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
24	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
25	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
26	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
27	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
28	状態に合わせた排泄介助	4	実技演習
29	実技のまとめ	4	実技演習
30	実技のまとめ	4	実技演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席・実技や演習への参加態度・実技で評価	【履修上の留意点】 実技が中心の授業となりますので、動きやすい服装と上履きが必要です。 テキストは現在選考中ですので、決定次第お知らせいたします。
--------------------------------	---